

## 統合開発環境High-performance Embedded Workshopご使用上のお願い --ターゲットプラットフォームと連携する際の モジュールのロードについて--

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- ターゲットプラットフォームと連携する際のモジュールのロードに関する注意事項

High-performance Embedded Workshopは、コンパイラやエミュレータデバッガなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

### 1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop V.4.01.01 ~ V.4.04.01

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニュー「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

### 2. 内容

High-performance Embedded Workshopとターゲットプラットフォームを連携させる操作(注1)を実行したときに、自動でモジュールをターゲットプラットフォームへロードする機能(注2)を複数のモジュールに設定していても、1つのモジュールしかロードされない場合があります。

**注1:** 主な操作のうち3つを以下に示します。

- メニュー「デバッグ」から「接続」をクリックする。
- メニュー「ファイル」から「ワークスペースを開く」をクリックする。
- メニュー「デバッグ」から「デバッグセッション」をクリックすると開く「デバッグセッション」ダイアログボックスの「現在のセッション」リストでデバッグセッションを変更する。

**注2:** ターゲットプラットフォームと連携させる操作を実行したときに、自動でモジュールをロードするには、「ダウンロードモジュール」ダイアログボックスにある「ターゲット接続時にダウンロード」チェックボックスをチェックします。

「ダウンロードモジュール」ダイアログボックスは以下の手順で開きます。

- (1) メニュー「デバッグ」から「デバッグの設定」をクリックして「デバッグの設定」ダイアログボックスを開く。
- (2) 上記ダイアログボックスの「ダウンロードモジュール」リストに表示されているモジュール名をダブルクリックする。

## 2.1 発生条件

以下のチェックボックスをすべてチェックしている場合に発生することがあります。

- (1) 「ダウンロード後にCPUリセット」チェックボックス  
このチェックボックスは「オプション」タブをクリックした「デバッグの設定」ダイアログボックスにあります。
- (2) 「リセット時にmain関数の先頭まで実行」チェックボックス  
このチェックボックスは「デバッグ」タブをクリックした「オプション」ダイアログボックスにあります。  
「オプション」ダイアログボックスは、メニュー「基本設定」から「オプション」をクリックすると開きます。

## 3. 回避策

この現象が発生した場合、以下の手順を実行してください。

- (1) 「リセット時にmain関数の先頭まで実行」チェックボックスのチェックをはずしてください。
- (2) (1)のチェックボックスと同じ画面にある「ダウンロード後にmain関数を表示」チェックボックスをチェックしてください。
- (3) ターゲットプラットフォームと連携させる操作を実行してください。  
モジュールがロードされ、main関数のあるソースファイルが開きます。
- (4) メニュー「デバッグ」から「カーソル位置まで実行」をクリックしてください。

## 4. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

---

### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.